

# 別府八湯 2017

2017年8月5日  
浦 達雄

## 1. 別府八湯の自然

### (1) 地形・地質など

①火山性扇状地 ②鶴見おろし ③別府石 ④別府一万年山断層帯 ⑤中央構造線 ⑥亀川断層  
⑦鉄輪断層 ⑧堀田断層 ⑨朝見川断層 ⑩湯けむり(2003年現在、405カ所)

※2001(平成13)年、NHKが公募した「21世紀に残したい日本の風景百選」に「別府湯けむり」が  
全国2位に選定。

※2012(平成24)年9月19日、「別府の湯けむり・温泉地景観」が国の重要文化的景観に選定。

### (2) 山岳・高原・湿原

①由布岳 1,583m ②鶴見岳 1,375m ③高崎山 628m ④伽藍岳(硫黄山) 1,045m ⑤大平山(扇  
山) 815m ⑥鍋山 620m ⑦城島高原 700～800m ⑧十文字原高原 500m程度 ⑨金比羅山(戦  
前の浜脇の観光名所) ⑩妙見山(現在の銀座裏にあった)

⑪実相寺山 169m 山頂に日本山妙法寺の仏舎利塔(1987年建立)がある。

⑫猪の瀬戸湿原：鶴見岳と由布岳の南斜面の間にある標高700mの湿原地帯。

### (3) 別府温泉の形成

①火山性温泉である別府温泉はおよそ5万年前に形成。

②別府地域の地下水・温泉水は、平均して50年で入れ替わる。

### (4) 河川・湖沼・溪谷・滝

①流川 ②永石川(源左衛門尻川) ③朝見川(支流としては乙原川、鮎返川) ④境川 ⑤春木川  
⑥平田川 ⑦内山溪谷 ⑧由布川溪谷 ⑨白糸の滝(堀田) ⑩乙原の滝 ⑪志高湖 ⑫神楽女湖  
⑬新川(亀川) ⑭冷川(ひやかかわ)：ホテルの名所(亀川) ⑮柴石川(新川上流)

### (5) 湾・島・海岸

①別府湾：菡萏湾。「かんたん」は蓮の花を意味する。

②瓜生島・久光島：慶長豊後地震(1596年)で沈んだとされる。諸説あり。位置は浜脇の沖。

③仏崎：大分市田ノ浦にある小さな岬。1930(昭和5)年、別府三勝に選定。他は志高湖・内山溪谷。

④スパビーチ：1984(昭和59)年完成。

### (6) 地獄

①海地獄：2009(平成21)年7月23日、別府の地獄として国の名勝に指定。

②山地獄

③かまど地獄

④鬼山地獄

⑤白池地獄：2009(平成21)年7月23日、別府の地獄として国の名勝に指定。

⑥血の池地獄：2009(平成21)年7月23日、別府の地獄として国の名勝に指定。

⑦龍巻地獄：2009(平成21)年7月23日、別府の地獄として国の名勝に指定。

⑧金龍地獄：ひょうたん温泉が所有。現在、休業中。

⑨鬼石坊主地獄

⑩坊主地獄

⑪鉄輪地獄：現在の陽光荘

⑫紺屋地獄：現在の別府温泉保養ランド

### (7) 夜景遺産

①グローバルタワー(施設夜景遺産)

②十文字原展望台(自然夜景遺産)

③湯けむり展望台(自然夜景遺産)

④別府湾S A(自然夜景遺産)

### (8) 国立公園

①瀬戸内海国立公園(高崎山など)

②阿蘇くじゅう国立公園(鶴見岳・由布岳など)

### (8) 温泉統計

①2016(平成28)年3月末現在の別府市(別府八湯)の温泉統計

源泉総数：2,292 カ所

利用源泉：1,753 カ所。自噴：354 カ所、動力：1,399 カ所

未利用源泉：539 カ所。自噴：141 カ所、動力：398 カ所

湧出量(L/分)：87,346、自噴：19,941、動力：67,405

温度別源泉数：25℃未満1カ所、25℃以上42℃未満196カ所、42℃以上1,817カ所、噴気278カ所  
(噴気の内訳：鶴見105・南立石79・鉄輪62・野田22・別府9)

②2016(平成28)年3月末現在の日本の温泉統計

温泉地数(宿泊施設を伴う温泉地)：3,155 カ所

源泉総数：27,214 カ所

宿泊施設数：13,108 カ所

温泉利用の公衆浴場数：7,864 カ所

③国民保養温泉地制度

国民保養温泉地。1954年から。97カ所。

国民保健温泉地。1981年から。21カ所。

ふれあい・やすらぎ温泉地。1993年から。25カ所。

### (9) 市有温泉 2015(平成27)年度入浴者数(13温泉施設で調査)

全体で136万7,497人利用。1位：堀田温泉19万9,361人・2位：不老泉19万7,531人

3位：浜脇温泉16万9,869人・4位：竹瓦温泉12万9,302人・5位：浜田温泉11万8,401人

## 2. 別府八湯の歴史

### (1) 歴史書・図版・人物

①豊後風土記(奈良時代初期に編纂)：赤湯の泉(赤湯泉)(現在の血の池地獄)、玖倍理(くべり)湯の井の記載。

②伊予風土記(奈良時代初期に編纂)：大国主命と少彦名命。

③柴石温泉：895(寛平7)年に醍醐天皇、1044(長久5)年に後冷泉天皇が病氣療養のため湯治。

④大友家：1196(建久7)年、大友能直(よしなお)、豊後国の守護となるが、入国せず、古庄四郎重能(しげよし)(能直の弟とされる)が浜脇に上陸したと言われる。

大友頼泰(よりやす)：元寇、つまり1274(文永11)年の文永の役、1281(弘安4)年の弘安の役で活躍。

大友義鎮(よししげ)(大友宗麟)：1550(天文19)年2月の二階崩れの変の際、浜脇館(現在の浜脇中学校の敷地)に滞在。

⑤一遍上人(時宗)：鉄輪蒸し湯。鎌倉時代の1276(建治2)年に開設と言われる。1277(建治3)年説あり。

⑥豊国紀行：貝原益軒。福岡藩士・儒学者。1694(元禄7)年発行。

⑦別府の庄屋：堀家(西法寺通り)(米屋旅館を経営)・高倉家(流川通り)

⑧伊能忠敬：九州測量のため別府を訪れる。1810(文化7)年。翌年も来別。現在の千葉県九十九里町生まれ。佐原(さわら)の酒造家伊能家の婿養子となる。

⑨鶴見七湯廻記(つるみしちとうのき)(江戸末期)：森藩の照湯惣司。

⑩温泉番付「諸国温泉功能鑑」(江戸後期)では、浜脇は前頭3枚目、別府は同6枚目に記載。

- ⑪流川下繁盛の図：荒金儀八郎。1862(文久2)年。
- ⑫二条関白(二条義実)：二條泉(天保時代湧出)(ホテルニューツルタ所有)の由来となる。
- ⑬井上馨：1865(慶応元)年、別府で湯治。若松屋旅館の離れの2階で潜伏。楠温泉入湯。山口県出身。1911(明治44)年5月、通称「灘亀親分」(永井亀吉)の墓を建立。離れを千辛万苦の場(現在、別府中央公民館の敷地に移築)と命名。
- ⑭豊後州速見郡濱湧温泉場賑之図：1881(明治14)年。
- ⑮豊後國別府驛温宗並波戸場一覽圖：明治中期頃発行。
- ⑯伊藤博文：日名子旅館で病のため湯治する。1893(明治26)年。
- ⑰ベルツ博士：1899(明治32)年来別。ドイツ人医師。
- ⑱豊後有名竹瓦温泉及二條泉之図：旅館森屋発行 1911(明治44)年。
- ⑲式子内親王(しきしないしのう)。後白河天皇の三女。平安時代末期の皇女。「新古今集」の藤原定家との恋に破れ、観海寺に落ちのびたとも伝えられる。
- ⑳油屋熊八：1863(文久3)年7月16日～1935(昭和10)年3月24日(72歳で逝去)。愛媛県宇和島市の米問屋の長男として出生。家業のかたわら 1890(明治23)年4月、宇和島町議会議員を務める。1892(明治25)年、大阪の時事新聞社の経済記者となる。この時、株取引のノウハウを学び、続いて、大阪市北浜3丁目に米の株取引会社を立ち上げた。日清戦争(1894～1895年)で大儲けをし、株界では「油屋将軍」と言われ、巨額の富を得た。その金額は当時で200万円、現在では約60億円に相当する。その間、大阪では北浜、東京では日暮里に大きな屋敷(油屋御殿)を構えた。しかし、日清戦争終局時、米相場の株価が暴落し大損をした。1897(明治30)年9月21日、35歳の時に外務省にパスポートを申請した。行き先はサンフランシスコ、目的は商業視察であった。その際、会社所在は大阪府大阪市東速北浜3丁目204番地、身分は東京府北豊島郡日暮里村元谷中東村1134番地 里正(りせい)であった。米国では約3年間滞在し、その間、キリスト教の洗礼を受けた。1900(明治33)年に帰国し、再度、相場師となるがうまくいかず、48歳の1911(明治44)年来別して、亀の井旅館(後の亀の井ホテル)を開業した。
- 1919(大正8)年、別府宣伝協会設立。1924(大正13)年、別府温泉宣伝協会と改称。
- 21 梅田凡平：油屋熊八の盟友で、別府お伽倶楽部でニコニコおじさんと言われた。1919(大正8)年に別府に移り住み、1920年に「別府お伽倶楽部」を設立し、子供たちを対象にした活動を行った。京都府出身。
- 22 原北陽：油屋熊八の盟友で水ひきおじさんと言われた。京都府出身。
- 23 高橋欽哉：別府商工会議所初代会頭。1929(昭和4)年、浜脇の埋め立て地で聴潮閣建設。
- 24 西條八十(1892年～1970年)：公募した「別府音頭」(1933年)の補作をした。作曲は中山晋平(1887年～1952年)。1番から5番までである。現在の東京都新宿区(旧・東京市牛込区)出身。

## (2)社寺・教会

- ①海門寺 ②波止場神社 ③中浜地藏尊 ④西法寺(藤棚がある) ⑤秋葉神社 ⑥カトリック別府教会 ⑦住吉神社 ⑧崇福寺(上人寺) ⑨長覚寺(下ん寺) ⑩金比羅神社 ⑪宝満寺(河内) ⑫修福寺(河内) ⑬朝見神社 ⑭永福寺 ⑮火男火売神社(火売) ⑯信行寺(亀川) ⑰西光寺(亀川) ⑱長泉寺(野田) ⑲八幡竈門神社(内竈) ⑳別府大仏(天満町) 実業家・岡本榮三郎、1928(昭和3)年建立。老朽化のため、1989(平成元)年解体。

※宝満寺：掲示板によれば「別府で1番古い寺」と記載。寺伝では、718(養老2)年、国東の六郷満山を開いた仁聞菩薩が建立。1913(大正2)年に現在地に移転。

## (3)歴史地名

- ①荘園：石垣荘(宇佐宮領)・朝見郷(宇佐宮領)・竈門荘(宇佐弥勒寺領)  
 ②別府の古称：別符(石垣荘の南の荘園)。別府の集落は平安末期に成立と言われている。

## (4)幕府と森藩

- ①別府は幕府の直轄地  
 ②明礬は幕府と森藩で二分

森藩(1.2万石)の山奉行は岡本屋、幕府は現在の湯の里。森藩の温泉は「照湯」。  
平田川の左岸が幕府領、右岸が森藩の飛び地。照湯は祓川(春木川の上流)の左岸で開発。

### (5)戦い

- ①二階崩れの変：1550(天文19)年。大友氏の内紛・お家騒動。大友義鎮(よししげ)(大友宗麟)が実権を握るきっかけとなった。
- ②石垣原の戦い：1600(慶長5)年。大友義統(よしむね)と黒田如水(黒田官兵衛)。
- ③西南の役：1877(明治10)年。
- ④日清戦争：1894(明治27)年7月25日～1895(明治28)年11月30日。
- ⑤日露戦争：1904(明治37)年2月8日～1905(明治38)年9月5日。
- ⑥第1次世界大戦：1914(大正3)年～1918(大正7)年。
- ⑦第2次世界大戦：海軍病院(亀川)・陸軍病院(別府)。

### (6)最初の上総掘り

1879(明治12)年説と1889(明治22)年説  
明治12年説：万屋儀作(神澤儀作)が仲町の万屋呉服店の敷地内で温泉掘削に成功。

1889(明治22)年説：神澤(かんざわ)又市郎が掘削。明治12年説が有利。

神澤家：丹波(現在の兵庫県)の呉服反物商。儀助⇒儀右エ門⇒儀作(万屋呉服店)⇒又市郎(初代別府市長)サイ(儀作の二女)・儀市(養子)(万屋旅館)

### (7)行政・その他

1893(明治26)年、別府・浜脇両村が町制を施行。別府町・浜脇町となる。

1906(明治39)年、別府町と浜脇町が合併して別府町となる。初代町長は日名子太郎。

1910(明治43)年、別府商業会を設立。1929(昭和4)年12月5日、別府商工会議所初総会開催(別府市会議事堂)。初代会頭に高橋欽哉を選出。

1924(大正13)年、別府市となる。初代市長は神澤又市郎。

1935(昭和10)年、別府市は、石垣村・朝日村・亀川町を編入して、大別府となる。

1961(昭和36)年、別府商工会議所婦人会誕生。会長・横山キク(杉乃井ホテル)、副会長・甲斐コウメ(雅叙園)、野口久恵(有田陶器店)。

## 3. 別府八湯の産業

### (1)道路・街道

①小倉街道(現在の西法寺通り)：現在の流川4丁目を中心。

北町・本町・中町・南町があった。南町には、豪商「たばこや」の屋敷があった。

②海門寺みち(銀座裏)：流川から妙見山を通過して、海門寺に至る通り。

③中浜筋：鶴見岳の扇状地の扇端に出来た通り。波うち際なので、道路は曲がっている。

別大電車が開通して発展。1400年以上の歴史がある中浜地藏尊が鎮座している。本堂の裏に「一願石」がある。

④流川通り：1917(大正6)年整備。暗渠にする。本町橋(流川と小倉街道の交差点)・名残橋(流川下流)

⑤海岸通り：1921(大正10)年整備。

⑥竹瓦小路：1921(大正10)年12月1日に完成。現存する日本最古の木造アーケード。

⑦市区改正：1906(明治39)年の別府・浜脇両町の合併によって別府町が誕生。それを受けて、市街地整備計画を実施。この事業は18年に及び、1928(昭和3)年完成。

### (2)旅館業・その他

①文化年間(1804～1818年)の宿：別府には湯株と称する宿が21軒存在した。

②初期のホテル：別府ホテル(大阪商船経営)・亀の井ホテル

③名門旅館：日名子(府内屋)・米屋(庄屋)・亀の井(油屋熊八)・鶴田(綱元)・岡本屋(山奉行)・富士屋(現在のギャラリー一也百・はなやもも)・萬屋旅館(現在のヤングセンター)・常盤屋旅館(現在のヤングセンターの駐車場)など。

万屋旅館(別府)：流川通りの4階建ての旅館。竹瓦小路の西にあった。1913(大正2)年完成。  
森屋旅館(別府)：竹瓦温泉界隈の5階建て旅館。1920(大正9)年建築。1925(大正14)年全焼。  
筑後屋旅館(鉄輪)：鉄輪で最初に4階建てに増築(大正時代)。昭和初期に筑後屋新館(築新)を新築。  
辰巳屋(鉄輪)：むし湯のそばで江戸末期開業。

#### ④菊地家(愛媛県出身の素封家)

明治時代に来別?。資産を築く。旧市街地で土地所有。当主・菊地庸夫は2005年逝去。

#### ⑤杉乃井ホテル：日本最大級の温泉旅館(客室数647室、収容定員2,914名)。

2015年度の客室稼働率100%、年間宿泊者数は約70万人。

1938(昭和13)年、杉乃井館として、神戸の貿易商である西村卯一郎が杉の木に囲まれた木造の料亭として開業。その後、陸海軍の指定旅館となって、高級官僚や著名文士が利用し繁盛したが、1944(昭和19)年8月、北京で料亭を経営するなどして財を成した福岡出身の石田清が買収。

中館(旧本館)(1961年開業)・新館(現在のHANA館)(1966年)・本館(1971年)。

スギノイパレス(1967年)・アクアビート(1993年)・棚湯(2003年)・ザ アクアガーデン(2010年)・ウエディングホール(2012年)・みどり湯(リニューアル)(2015年7月18日)・ワールドダイニング「シーダパレス」(2015年12月25日)。

1981年11月、地熱発電所を自家発電用として運転開始。

1988年、労使紛争の激化でロックアウト。1990年、営業再開。錦水園売却。

2001年5月、137億円の負債を抱えて民事再生法の適用を申請する。その際、所有と運営の分離が図られ、運営は加森観光が行い、土地や施設はオリックス不動産が所有することになった。

2008年9月1日、オリックス不動産グループに一元化。2015年3月14日、宇奈月杉乃井ホテル開業。

#### ⑥旅館再生企業の進出：大江戸温泉物語(ホテル清風)、星野リゾート(花菱ホテル)。

### (3)鉄道・港湾・船舶

①1871(明治4)年：別府港築港。日田県知事・松方正義(鹿児島県出身)が別府を視察した際、海上交通の便を図れば別府の発展が期待されるとの発案から1870(明治3)年2月に着工。別府築港之碑は1912(大正元)年完成。

②1973(明治6)年：大阪開商社が蒸気船「益丸」の定期運行開始。日名子太郎に回漕業務を委託。

③1917(大正6)年：流川通りは暗渠となって、8間道路として拡幅。

④1896(明治29)年8月5日：豊州電気鉄道(後の大分交通)設立。2016年、120周年を迎えた。

⑤1900(明治33)年5月：別大電車(豊州電気鉄道)開通。九州初の路面電車。

京都電気鉄道(1895年開通)・名古屋電気鉄道(1896年)・大師電気鉄道(1899年)(後の京浜急行)・小田原電気鉄道(1900年3月)に続く日本で5番目の電気鉄道として開業。

1929(昭和4)年5月1日：別府棧橋前一境川間、北浜一別府駅前間開業。

1956(昭和31)年10月19日：北浜一別府駅前間廃止。

1972(昭和47)年4月：全面廃止。

⑥1911(明治44)年7月：別府停車場(現別府駅)開業。11月：浜脇停車場(現東別府駅)開業。

⑦1920(大正9)年：別府港に大阪商船専用のコンクリート製固定棧橋完成。

⑧1926(昭和元)年：カナダ観光船エンプレス・オブ・スコットランド号(35,000トン)が別府に入港。

⑨1950(昭和25)年：別府国際観光温泉文化都市建設法。

⑩1964(昭和39)年：やまなみハイウェイ開通。1994(平成6)年に無料化。

⑪1967(昭和42)年：港湾機能を別府国際観光港へ全面移転。

### (4)別荘の開発と海岸の埋め立て

①新別府：1914(大正3)年。海地獄(千寿吉彦)(竹田出身)が開発。

②田の湯館(旧松永万八別荘)：1914(大正3)年。2009年解体。

③旧麻生別荘(紅紫迎賓館)：1914(大正3)年。飯塚の炭鋺王麻生太吉の別邸。2006(平成18)年解体。

④鶴水園：1915(大正4)年、鶴水園住宅地埋め立て分譲開始。第2次世界大戦後に旅館増加。

1922(大正 11)年：花菱旅館開業。1923(大正 12)年：旅館二条館開業。

⑤伊藤別荘：1916(大正 5)年。筑豊の炭鉱王伊藤伝右衛門の別荘。1979年解体。1954(昭和 29)年から1979(昭和 54)年まで実業家の首藤克人が「別府赤銅御殿ホテル」として経営。

⑥中山別荘：1920(大正 9)年。2006年解体。山の手町。元は富士紡績の創業者和田豊治の別荘「致楽荘」として建設。1938(昭和 13)年、中山製鋼所を興した中山悦治に所有権が移行。

⑦観海寺：1920(大正 9)年。別府観海寺土地株式会社(多田次平)。伊予出身の実業家。1931(昭和 6)年 10 月大火。1922(大正 11)年、観海寺橋開通。

### (5)劇場

1914(大正 3)年開設の松原公園界限には、劇場として松涛館、映画館として松栄館と世界館などがあった。

### (6)庭園・公園

①躑躅園：1904(明治 37)年。

②別府公園：1977(昭和 52)年開設。昭和天皇御在位 50 年記念公園の指定を受けて整備。元は駐留米軍のキャンプ、続いて、陸上自衛隊別府駐屯地として使用された。

③浜脇公園：現在の浜脇中学校の場所。大友家の館の跡と言われる。

④松原公園：1914(大正 3)年開設。九州の浅草と称される。

⑤上人ヶ浜公園：一遍上人の上陸地と言われる。

⑥海門寺公園：2003(平成 15)年リニューアル。

⑦大谷公園：2008(平成 20)年 4 月リニューアル。足岩盤湯などを整備。大谷光瑞(浄土真宗本願寺第 22 世門主)。大谷探検隊を組織して中央アジアを探検。1947 年来別して亀川国立病院入院。1948(昭和 23)年、鉄輪別荘で逝去(73 歳)。

### (7)観光・遊園施設

①湯の花小屋：江戸時代の明礬製造がルーツ。現在、脇屋商会と岡本屋などが製造している。湯の花製造技術は、1968(昭和 43)年に「別府明礬温泉の湯の花製造技術」として別府市の無形文化財に指定、2006(平成 18)年には同名で国の重要無形民俗文化財にも指定されている。

②別府地獄めぐり：海地獄が 1910(明治 43)年に遊覧施設を整えて入場料を徴収開始。

なお、海地獄・血の池地獄・白池地獄・龍巻地獄は 2009(平成 21)年 7 月に、別府の地獄として国の名勝に指定されている。

③ひょうたん温泉：河野順作が妻マツのために、1922(大正 11)年開業。1927(昭和 2)年、瓢箪閣開業。高さ 18m・7 階建ての展望台。観光ミシュランガイド三ツ星獲得。

④鶴見園：1925(大正 14)年開園。九州の宝塚と称される。

⑤ラクテンチ：「別府遊園」として 1929(昭和 4)年開園。

⑥別府市営競輪：1950(昭和 25)年開設。

⑦高崎山自然動物園：1953(昭和 28)年開園。

⑧別府タワー：1957(昭和 32)年開業。90m。

名古屋テレビ塔(1954 年)・通天閣(1956 年再建)に次ぎ、日本で 3 番目に建てられた高層塔。

⑨別府ロープウェイ：1962(昭和 37)年開業。

⑩大分マリンパレス水族館：1964(昭和 39)年開園。

⑪城島高原パーク：1967(昭和 42)年 3 月、「キジマモートピアランド」として開園。

⑫九州自然動物公園アフリカンサファリ：1976(昭和 51)年開園。

⑬ハーモニーランド：1991(平成 3)年開園。

⑭グローバルタワー：1995(平成 7)年開業。ビーコンプラザの付帯施設。125m。

### (8)博覧会など

①中外産業博覧会：1928(昭和 3)年開催。別府市の市制施行 5 周年を記念して開催。

②別府国際温泉観光大博覧会：1937(昭和 12)年開催。別府と阿蘇・雲仙・長崎とを結ぶ国際観光ルート構想を契機に開催された。また、1935(昭和 10)年に別府市と亀川町・石垣村・朝日村との合併

を記念する意味合いもあった。

③別府温泉観光産業大博覧会：1957(昭和32)年開催。やまなみハイウェイ(九州横断道路)の着工を記念して開催された博覧会。

④別府八湯温泉泊覧会：第1回は2001年秋に開催。

⑤別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」：第1回は2009年開催。3年ごとに開催。2015年の第3回で終了。

### (9) 伝統産業・名物

①竹細工 ②つげ細工 ③湯の花 ④ざぼん漬 ⑤花卉 ⑥別府冷麺 ⑦別府とり天

⑧城下(しろした)カレイ ⑨フグ(帝国連合艦隊・皇族などが高級料亭「なるみ」を利用)

⑩長寿味噌(坂本長平商店)1910((明治43)年創業 ⑪フジヨシ醤油1948(昭和23)年創業 ⑫友永パン屋1916(大正5)年創業。

⑬針(別府の縫針製造の歴史は江戸時代までさかのぼる。「丸一針」(河村藤吉経営)は、別府土産として人気を博した)。

⑭七島藺(江戸時代に別府で生産された)

※別府竹細工の起源は、「日本書紀」の記述によると、景行天皇が別府に立ち寄った際にメゴ(茶碗籠)を作ったことが始まりとされる。本格的に工芸品として扱われるようになったのは室町時代からだと言われ、行商用の籠が販売のために生産されるようになり、竹細工の市場が整備されていった。

### (10) 発電

①火力発電

1902(明治35)年、日本で2番目の火力発電所建設。1904(明治37)年、別府町で一般家庭などにも電気が供給される。1887(明治20)年、東京電灯が第二電灯局を建設、日本初の火力発電所が誕生(出力25kW)。(未確認)

②地熱発電

1919(大正8)年、海軍中将・山内万寿治が別府市で噴気孔掘削に初めて成功。その後事業を引き継いだ太刀川平治博士が1925(大正14)年に日本最初の地熱発電(出力1.12kW)に成功。場所は坊主地獄の東側で、鉄輪地獄地帯公園の林の中。これに先立つて、1917(大正6)年、亀川出身の高橋廉一(亀川村庄屋の高橋敬一の子息)が火売町に2階建ての研究所を建て私財を投じて研究開発を開始。

### (11) 病院・伝染病

①海軍病院(亀川) ②陸軍病院(別府) ③朝見病院 1898(明治31)年7月、鳥瀨恒吉 ④野口病院 1922(大正11)年7月、野口雄三郎、甲状腺疾患の研究治療 ⑤九州大学病院別府病院 1931(昭和6)年、温泉を活用した温熱療法等の研究 ⑥浜脇のコレラ 1879(明治12)年などで発生

### (12) 銀行・金融機関

①大分銀行 1877(明治10)年11月、第二十三国立銀行が現在の別府市に設立。1893(明治26)年2月1日、(株)大分銀行設立。2013(平成25)年、120周年。

②大分みらい信用金庫 1922(大正11)年4月12日、有限責任別府信用組合として設立。1994(平成6)年5月、大分みらい信用金庫に改称。2012(平成24)年4月、創立90周年。

## 4. 別府八湯の文化

### (1) 作家

①織田作之助(1913年～1947年)：「夫婦善哉」・別府三部作(雪の夜・湯の町・怖るべき女)。2007(平成19)年には鹿児島県で「続・夫婦善哉」が発見された。夫婦善哉は、別府に住んでいた次姉夫妻がモデルとされる。次姉夫妻は、第2次世界大戦後、別府駅裏で旅館「文楽荘」を営業した。

②三島由紀夫(1925年～1970年)：1958(昭和33)年、新婚旅行で杉乃井館に宿泊。地獄めぐりを行なう。

③川端康成(1899年～1972年)：「続千羽鶴」。1952(昭和27)年10月来別。

④菊池幽芳(1870年～1947年)：大阪毎日新聞の記者。作家。「別府温泉繁盛記」「百合子」。別府宣伝のため1907(明治40)年10月に招かれる。

⑤徳田秋声(1872年～1943年)：「西の旅」「観海寺の五日」。近代自然主義の代表作家。1903(明治36)年2月末から1カ月間別府で療養。

⑥林真理子(1954年～)：「白蓮れんれん」。1994(平成6)年発行。白蓮と宮崎龍介との大正の恋物語。

⑦ポール・クローデル(1868年～1955年)：1921(大正10)年から6年間、駐日大使を務めたフランスの外交官。詩人。1924(大正13)年と1926(大正15)年に別府を訪問。詩碑は1968(昭和43)年9月に建てられ、現在は北浜公園の中にある。

⑧竹久夢二(1884年～1934年)：1918(大正7)年来別。長崎旅行の途中、愛人・笠井彦乃と別府に立ち寄ったが、彦乃は肺結核が悪化。中田医院に入院中の彦乃を約1カ月見舞った。

⑨与謝野晶子(1878年～1942年)：油屋熊八の招きに応じて、1931(昭和6)年10月、与謝野寛(鉄幹)・晶子夫妻が来別し、亀の井ホテルに宿泊。

⑩斎藤茂吉(1882年～1953年)：1921(大正10)年3月、ドイツに留学するので、長崎から東京に帰る途中に、東大医学部の同窓であるの鳥淵豊博士を尋ねるため来別。

⑪高浜虚子(1874年～1959年)：1920(大正9)年、鉄輪の富士屋旅館に宿泊。日本八景に温泉の部門で選ばれた別府温泉を高浜虚子が執筆。

「日本八景」1927(昭和2)年7月6日発表。(東京日日新聞と大阪毎日新聞の共同企画・鉄道省後援)。

⑫柳原白蓮(1885年～1967年)：大正時代から昭和初期にかけての歌人。柳原燐子(あきこ・白蓮)は京都の伯爵家に生まれた。16歳の時、養女先の子息と結婚させられたが、すぐに離別。1911(明治44)年、27歳の時、筑豊の炭鉱王である伊藤伝右衛門と再婚する。別府の赤銅御殿と呼ばれた別荘での生活が始まるが、その後、1921(大正10)年、青年社会運動家である宮崎竜介と駆け落ち。2016年は生誕130周年。

⑬丸山待子(1893年～1941年)：歌人。29歳で夫と死別後、実家である小松屋へ戻り、1928(昭和3)年に浅利良道などと共に「大分歌人」を創刊した。野口雨情・与謝野晶子なども訪れ、小松屋は文化サロンとして機能した。

⑭浅利良道(1897年～1977年)：歌人。大分県短歌界の重鎮。1934(昭和9)年、大分合同新聞(当時は大分新聞)の歌壇選者となる。生誕地は現在の西法寺通り。旧国道(小倉街道)では「仲町」(中町)。旧屋号は満足屋。

⑮奥野他見男(1889年～1953年)：「別府夜話」。1925(大正14)年発行。書き出しは「別府に怪しいものがある。家族風呂だ」。1921(大正10)年に落成した不老泉のことを書いている。

⑯若山牧水(1885年～1928年)：現在の日向市で生まれる。1925(大正14)年、妻と共に九州各地に出かけ、母を連れて別府で保養する。

⑰阿川弘之(1920年～2015年)：1953年、学徒兵体験に基づく「春の城」で読売文学賞を受賞。「雲の墓標」(学徒出陣した特攻隊員の苦悩をテーマとする)。亀川では「かぢや(かじや)旅館」、別府では本屋・千疋屋・散髪屋などが登場する。

⑱倉田紘文(1940年～2014年)：俳人。「落」(フキ)を主宰。「鉄輪俳句筒・湯けむり散歩」の選者。

⑲内田百閒(1889年～1971年)：夏目漱石門下生。1955年から1960年まで『阿房列車』執筆。杉乃井館が登場する。

## (2)句碑・歌碑・記念碑

### ①芭蕉塚

西法寺 「古池やかまはつ飛び込む水の音」

長松寺 「むすぶよりはや齒にひくく清水かな」

長覚寺 「月かまや四門四宗も只ひとつ」

海門寺 「作り木の庭をいさめる時雨かな」

### ②油屋熊八の碑 (別府公園)

③柳原白蓮の歌碑 (青山町) 「和田津海の 沖に火もゆる 火の国に われあり 誰ぞや 思われ人は」

④野口雨情の歌碑 (鉄輪温泉) 「豊後鉄輪 むし湯の帰り 肌に石菖の香が残る 枕十六 蒸し湯

の中に誰が 練るやら 来るのやら」

⑤伊能忠敬測量の地記念碑(流川4丁目角)

### (3)有名建築(近代化遺産)

①千辛万苦の場(若松屋旅館・離れ)：江戸時代末期 設計は不詳。

②野口病院：1922(大正11)年 不詳。

③京都大学地球熱学研究施設：1923(大正12)年12月竣工 永瀬狂三(1877年～1955年)設計  
1924(大正13)年11月 研究及び業務の開始。

④駅前高等温泉、寿温泉：1924(大正13)年 不詳。

⑤別府市中央公民館(旧別府市公会堂)：1928(昭和3)年 吉田鉄郎(1894年～1956年)。

⑥別府市児童館：1928(昭和3)年 吉田鉄郎。

⑦聴潮閣：1929(昭和4)年 不詳。別府を代表する財界人であった高橋欽哉の自邸・迎賓館。泉孫旅館の別荘として浜脇の埋め立て地で建築。1989(平成元)年に青山に移築。2001(平成13)年に聴潮閣高橋記念館として開館。2015(平成27)年12月末閉館。欽哉は泉孫を経営する高橋孫三郎の養子。

⑧平尾邸：1917(大正6)年 不詳。500坪の敷地に延べ床面積140坪の大きな洋館。

⑨浜田温泉資料館(旧浜田温泉)：1935(昭和10)年 池田三比古(1893年～1979年)。老朽化で2003(平成15)年に解体されたが、2005(平成17)年に資料館として復元。

⑩竹瓦温泉：1938(昭和13)年 不詳。

⑪別府タワー：1957(昭和32)年 内藤多伸(1886年～1970年)。

### (4)祭り・イベント

①別府八湯温泉まつり：2017年で103回開催となる。扇山火まつりなど。

②鉄輪温泉湯あみ祭り：一遍上人の徳を称え、温泉の恵みに感謝する祭り。

③湯けむり工芸展：かんなめ会によるイベント。

④浜脇薬師祭り：1400年の歴史がある。花魁道中と風流見立て細工。

⑤別府アルゲリッチ音楽祭：1999(平成11)年開催(第1回)。2017年で19回開催となる。

⑥海上渡御民芸振興祭：住吉神社の夏季大祭。

⑦別府大分毎日マラソン大会：2017(平成29)年で66回開催となる。

⑧べっぷクリスマス Hanabi ファンタジア：1994(平成6)年開催(第1回)。

⑨べっぷ鶴見岳一気登山大会：2017(平成29)年で30回開催となる。

⑩別府八湯竹瓦倶楽部：2000(平成12)年7月、竹瓦かゝいわい路地裏散歩開始。

⑪鉄輪愛耐会：1982(昭和57)年設立。鉄輪ごよみ(湯けむり散歩)を発行(選者は倉田紘文)。

⑫別府八湯温泉道：2001(平成13)年3月25日スタート。

### (5)ゆかりの著名人

①稲尾和久(1937年～2007年)：プロ野球選手。波止場神社近くで住む。父は漁師で、網元は鶴田家。

②今宮健太(1991年～)：福岡ソフトバンクホークス。2015年4月21日、別府特別観光大使就任。

③山下久美子(1959年～)：ミュージシャン。2017年で36周年。

④大塚博堂(1944年～1981年)：シンガーソングライター。

⑤琴別府要平(1965年～)：大相撲力士。

⑥錦野旦(1948年～)：別府緑ヶ丘高等学校卒業。当初、器械体操部に所属。

⑦荒巻淳(1926年～1971年)：別府星野組。第20回都市対抗野球大会(1949年)で優勝。和製火の玉投手。

⑧岡本太郎(1911年～1996年)：緑の太陽(陶板壁画)(別府市田の湯町15 サンドラッグビル)。1969年、ビルのオーナーである佐藤定人が製作を依頼。

### (6)文化・集客・スポーツ施設・学校・その他

①工業徒弟学校(大分工業高校の前身)：1902(明治35)年開校。1915(大正4)年12月、大分市に移転。現在は、住吉温泉の場所。

②別府市立美術館：1950(昭和25)年開館。佐藤慶太郎(北九州市の実業家)の寄付金による。現在地

では1984(昭和59)年開館。2016(平成28)年7月1日、老朽化によって休館。

③大分香りの博物館：1996(平成8)年開館(豊後大野市の県民の森)。2006(平成18)年3月末閉鎖。2007(平成19)年11月、別府大学別府キャンパス内で開館。学校法人別府大学の創立記念100周年事業。

④ビーコンプラザ：1995(平成7)年開館。大分県出身の建築家・磯崎新(1931年～)による設計。

⑤別府市総合体育館「べっふアリーナ」：2006年開設。

⑥別府市民球場(別府稲尾球場)：2007(平成19)年開設。

⑦太陽の家：1965(昭和40)年開設。中村裕(1927年3月30日～1984年7月23日)医師が設立。作家の水上勉(1919年～2004年)が命名。